

第2次光市環境基本計画の取組状況について ～令和4年度(最終年度版)～

令和5年11月
光市環境政策課

目 次

第2次光市環境基本計画の取組状況の評価について	1
●みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト	2
●みんなで創る エコまち推進プロジェクト	4
●みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト	7
●みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト	11
●みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト	14

第2次光市環境基本計画の取組状況の評価について

第2次光市環境基本計画を着実に推進するため、計画の具現化を先導する政策として実効性が求められる後期リーディングプロジェクトごとに掲げた数値目標について、計画最終年度（令和4年度）の評価を行います。

1 評価の方法

5つのリーディングプロジェクトごとに、数値目標の達成状況を把握します。

（1）数値目標

- ・環境指標として示す項目について、策定時数値を基点とした目標値までの達成状況を、実績値及び達成率の数値で示します。
- ・原則として、策定時の数値は平成29年度、実績値の数値は令和4年度としていますが、把握が困難なものについては、（ ）内に記載する年度の数値を掲げています。
- ・環境指標のうち、令和3年度に実施した「環境市民アンケート」で把握した満足度などの指標については、アンケート実施時の数値を実績値として示しています。

※達成率の算出方法

$\text{【達成率（％）】} = (\text{実績値} - \text{策定時}) \div (\text{目標値} - \text{策定時}) \times 100$

（2）施策や事業の取組状況

- ・「具体的な展開例」に掲げる項目ごとに、担当課における令和4年度の取組状況を示します。なお、「第3次光市環境基本計画（令和5年度から令和14年度まで）」の策定にあたり、令和3年度までの取組実績について評価と課題を整理し反映させているため、令和4年度の取組状況は参考として示します。

1 みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①LED照明を導入している公共施設数	3件	29件	10件	371.4%
②街路灯のLED化率	0.5%	17.4%	3.0%	676.0%
③家庭でLED照明を導入している人の割合	59.1%	74.3% (R3)	85.0%	58.7%

【参考】

●取組状況

施策や事業の展開例		公共施設におけるLED照明導入の推進	
概要	明るく環境にやさしいLED照明の導入を推進するため、公共施設においても積極的な導入に取り組む。	令和4年度の実績状況	
担当課		●本庁舎における蛍光灯を用いた照明器具について、安定器の交換が必要なものは、部品交換ではなくLED照明器具への交換を行った。 ●その他の公共施設においても、蛍光灯の修繕にあわせて、LED照明器具への交換を行った。	
環境政策課 総務課 関係各課			
施策や事業の展開例		LED照明の導入促進	
概要	地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅にLED照明の導入促進を図る。	令和4年度の実績状況	
担当課		●省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行った。令和4年度は、補助金の上限額となる5万円までの再申請を可能とし、更なる導入促進を図った。 ●補助件数:125件(うち、再申請19件)	
環境政策課			
施策や事業の展開例		街路灯・防犯灯のLED化の推進	
概要	街路灯や防犯灯について、LED照明への交換を推進する。	令和4年度の実績状況	
担当課		●防犯灯の新設・更新はLED照明とした。 ●新設・更新:22灯 ●645灯の街路灯について、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新した。 《令和4年度末の設置数》 ●LED照明:112灯	
生活安全課 関係各課			

施策や事業の展開例		LEDの活用による「光」の名の発信の推進
概要	「光」の名を有するまちとして、LEDを活用した知名度の向上を推進する。	令和4年度の実施状況 ・LED照明の普及を目的とした省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施した。
担当課		
関係各課		

2 みんなで創る エコまち推進プロジェクト

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①市域全体からの温室効果ガス排出量(全部門)	2,038 千t-CO ₂ (H26)	2,040 千t-CO ₂ (R2)	1,862 千t-CO ₂	△ 1.1%
②市域全体からの温室効果ガス排出量(民生部門)	209 千t-CO ₂ (H26)	127 千t-CO ₂ (R2)	181 千t-CO ₂	292.9%
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135 t-CO ₂ (H28)	12,456 t-CO ₂	12,279 t-CO ₂	79.3%
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12件	14件	14件	100.0%
⑤路線バスの年間利用者数	598,194人 (H28)	493,867人	707,000人	△ 95.9%
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8%	83.0%	95.0%	△ 7.1%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8%	27.7% (R3)	70.0%	△ 220.5%
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4%	40.0% (R3)	45.0%	34.2%

【参考】

●取組状況

施策や事業の展開例		省エネルギー製品の導入促進
概要	地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅に省エネ設備の導入促進を図る。	令和4年度の実績状況 ・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(太陽熱利用システム、複層ガラス・二重サッシ、宅配ボックス)の導入に対し補助を行った。 ●補助件数 太陽熱利用システム:3件 複層ガラス・二重サッシ:25件 宅配ボックス:6件
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例		次世代自動車の導入及び普及促進
概要	公用自動車への次世代自動車の導入を推進するとともに、普及促進を図る。	令和4年度の実績状況 ・農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行った。 ・次年度に、公用車に電気自動車を導入するための検討を行った。
担当課		
環境政策課 関係各課		

施策や事業の展開例		公共交通機関の利用促進
概要	令和4年度の実施状況	
交通事業者等との連携により公共交通機関の利用促進を図る。	・「光市地域公共交通計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進した。 ・市内で運行するバス事業者の交通系ICカード導入を支援し、光市公共交通マップへの掲載など利用促進を図った。 ・高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業により、バスやタクシーの利用促進を図った。 ・県下一斉ノーマイカーデーに協力した。	
担当課	・バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日に実施した。	
公共交通政策課 環境政策課		
施策や事業の展開例		市域全体での省エネルギー運動の促進
概要	令和4年度の実施状況	
各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進する。	・市域全体での温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日に実施した。 ・家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」について、夏季、冬季の2回実施した。 ●参加世帯数：夏季106世帯 冬季118世帯 ・日頃の実施を地球温暖化防止につなげることを目的として、山口県のライトダウンキャンペーンの実施日に合わせて、市内の家庭や事業所等を対象に、夜間の一定時間の消灯を呼びかけた。	
担当課	・家庭における温室効果ガスの排出削減を推進するため、「省エネ家電買替キャンペーン2022」を実施した。	
環境政策課		
施策や事業の展開例		地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実
概要	令和4年度の実施状況	
地球温暖化防止に資するため、関係機関と連携し、イベント等の活用による情報発信及び啓発活動の充実を図る。	・環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を3回開催した。 ・光市地球温暖化対策地域協議会と協働で、光まつりにブース出展し、地球温暖化防止に関する普及啓発を行った。	
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例		燃料電池自動車の導入
概要	令和4年度の実施状況	
地球温暖化防止対策の一環として、水素を活用した燃料電池自動車の公用自動車としての導入を検討する。	・公用車への燃料電池自動車の導入については、水素ステーションの数が少ないことや導入経費の課題もあるため、現状では困難とし、先行して電気自動車の導入に取り組むこととした。	
担当課		
環境政策課		

施策や事業の展開例		太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進
概要	公共施設へ太陽光発電システムを導入するとともに、家庭での自然エネルギーの利用促進を図る。	令和4年度の実施状況 ・新設する公共施設への導入について検討するとともに、家庭での利用促進を図るため、省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施した。
担当課		
環境政策課 関係各課		
施策や事業の展開例		市の率先行動計画(エコオフィスプラン)の推進
概要	本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制の取組みを推進するとともに、職員の環境意識の向上を図る。	令和4年度の実施状況 ・本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で7%削減するという目標に対して、5.7%の削減となった。 ●平成26年度(基準年度) 13,204,263kg-CO₂ ●令和4年度(目標年度) 12,456,525kg-CO₂ また、エコオフィスプラン(第3期)が目標年度を迎えることから、これにかわる取組となる、「市役所等が行う温室効果ガス排出量の削減に向けた取組」を「第3次光市環境基本計画」に包含する形で策定した。
担当課		
環境政策課 関係各課		
施策や事業の展開例		地球温暖化対策地域協議会の活動支援
概要	環境意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制のため、各主体が属する本協議会の活動を支援する。	令和4年度の実施状況 ・ノーマイカー運動やエコスタイルセミナーなど、地球温暖化防止に資する事業に対して市も共催して取り組み、活動を支援した。
担当課		
環境政策課		

3 みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869人	10,837人	17,000人	△ 444.9%
②アダプト・プログラムの参加団体数	16団体 (H28)	22団体	20団体	150.0%
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347本 (H28)	42,298本	42,000本 以上	114.1%
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7%	10.6% (R3)	35.0%	△ 4.7%
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0%	76.4% (R3)	90.0%	△ 70.0%
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8%	76.9% (R3)	85.0%	△ 55.8%
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1%	59.2% (R3)	85.0%	△ 189.9%
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9%	73.8% (R3)	85.0%	△ 173.2%
⑨生活環境の快適さ(騒音や悪臭がないこと)に関する満足度	71.6%	78.5% (R3)	80.0%	82.1%

【参考】

●取組状況

施策や事業の展開例 「自然敬愛都市宣言」のまちの周知	
概要	令和4年度の取組状況
市民の自然敬愛意識を醸成し、自然環境の保全活動を促進するため、「自然敬愛都市宣言のまち」であることの周知を図る。	・環境学習等、様々な機会を通じて「自然敬愛都市宣言のまち」のPRに努めた。
担当課	
環境政策課	
施策や事業の展開例 クリーン光大作戦の推進	
概要	令和4年度の取組状況
自然敬愛への自覚と意識の向上及び青少年の社会参加活動を促進するため、年1回の市域全体での清掃活動を実施する。	・令和4年度クリーン光大作戦を7月3日に実施した。 ●参加人数:10,837人
担当課	
文化・社会教育課	

施策や事業の展開例 アダプト・プログラムの推進	
概要	令和4年度の実施状況
環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムを推進する。	・市民に身近な道路や公園、海岸などの公共の場所の美化及び清掃について、市民と行政が連携・協働して実施（ゴミ袋、軍手、ガンザキ等清掃用具を支給）するとともに、市民活動補償制度を適用し、安心して活動に取り組めるよう支援した。 ●事業登録団体数：22団体（R4年度末）
担当課	
地域づくり推進課	
施策や事業の展開例 自然環境や景観と調和した光漁港海岸（室積海岸）の保全対策の推進	
概要	令和4年度の実施状況
台風等により浸食された海岸の保全対策や高潮対策を推進する。	・事業に関する今後の計画について、地元説明会を5回開催し、事業への理解、協力を求めた。 ・前松原排水路の延伸工事について、県・国との協議を進め、工事の発注作業を行った。 ・高潮対策として高潮堤防工事を24m、陸閘1か所を設置した。 ・事業に必要な用地の取得や建物補償を行った。
担当課	
農林水産課	
施策や事業の展開例 海岸松林の保全	
概要	令和4年度の実施状況
本市の貴重な自然環境を良好な状態で次世代へ継承するため、松の植栽や維持管理を市民等との協働で行うなど、保全活動の推進を図る。	・室積・虹ヶ浜海岸松林において、市民ボランティア等による清掃活動や黒松植栽など、松林の保全管理を実施した。 ●黒松植栽本数 100本（黒松3～4年生） （令和4年度末） 42,298本
担当課	
農林水産課	
施策や事業の展開例 市民参加による緑化活動の推進	
概要	令和4年度の実施状況
市民の自主活動による花や緑の保全活動を推進する。	・市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図った。 ●花壇コンクール参加団体：60団体 ●誕生記念植樹：メインツリー（ウメ）2本 ●冠山総合公園協働活動事業：ヤマザクラ2本植樹
担当課	
都市政策課 関係各課	
施策や事業の展開例 市民の森自然観察林の整備	
概要	令和4年度の実施状況
身近な森林として市民に親しまれ利用される市民の森自然観察林の整備により、森林の整備と保全の重要性の理解や意識の高揚を図る。	・市民の森他4か所の下刈りや樹木の剪定等の維持管理を実施した。 ●下刈り 4.75ha ●剪定 1,000㎡
担当課	
農林水産課	

施策や事業の展開例 自然環境を活かした防災機能の向上	
概要 市民生活の安全、安心の向上に資する森林の持つ多面的機能を活用するため、海岸松林や森林の適正な整備を実施する。	令和4年度の実施状況 ・森林経営計画に基づき、適切な森林整備を実施した。 ・光市有林団地について、新たに5か年計画の経営計画を策定した。
担当課 農林水産課	
施策や事業の展開例 公園・緑地の適正な配置・保全	
概要 緑豊かなまちづくりを進めるため、「光市都市計画マスタープラン」や「光市緑の基本計画」に基づき、公園や緑地の適正な配置・保全を推進する。	令和4年度の実施状況 ・花と緑の安らぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行った。また街区公園等において、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに遊具の安全点検や施設の修繕などを行った。 ●近隣公園：1か所 ●街区公園：29か所
担当課 都市政策課	
施策や事業の展開例 自然に配慮した河川整備	
概要 自然と人とのふれあいの場の確保や自然に対する保全意識の高揚を図る。	令和4年度の実施状況 ・市が管理する準用河川や普通河川の整備や災害復旧においては、河川内の植物や魚類等の生息に配慮した護岸構造を選定するなど、河川環境の保全に努めた。
担当課 道路河川課	
施策や事業の展開例 公共下水道や浄化槽の整備	
概要 市内の下水道認可区域における下水道未整備地区について、効率的かつ効果的に下水道を整備するとともに、下水道整備が困難な区域の合併浄化槽の設置を促進する。	令和4年度の実施状況 ・室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図り、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図った。 ●令和4年度末 処理区域面積：988ha(前年度末986ha) ●令和4年度末 普及率：81.9%(前年度末81.5%) ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、合併処理浄化槽設置に対する助成を行った。 ●下水道認可区域外：5基 ●下水道認可区域内：2基
担当課 下水道課	
施策や事業の展開例 安全でおいしい水の安定的供給	
概要 水質の維持管理に努め、安全でおいしい水の安定的な供給に努める。	令和4年度の実施状況 ・安定した水道水供給のため、老朽管の布設替え及び耐震化を進めた。 ●布設替え：2.6km ●耐震管率：40.7%(前年度末40.0%) ・水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を観音寺配水系統で実施した。 ・清山送水管布設替工事に着手し、県道光玖珂線において、0.5kmの整備を実施した。
担当課 水道局	

施策や事業の展開例		鳥獣被害防止対策の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
イノシシやサル等の有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等の被害防止対策を推進する。		・有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策の補助を行った。 ●捕獲頭数:イノシシ237頭 ●補助件数:68件	
担当課			
農林水産課			
施策や事業の展開例		公害防止対策の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進する。		・大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底した。	
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		公共事業における環境配慮の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
公共事業発注の際は、環境破壊や環境汚染を引き起こすことのないよう注意喚起を促す。		・入札時に配布する資料の中に、施工にあたっては、排出ガス対策型建設機械を使用することを明記した。	
担当課			
入札監理課			
施策や事業の展開例		文化・歴史的資源の保存・活用	
概要		令和4年度の実施状況	
良好な景観と市民の潤いある住環境を整備するため、文化や歴史的資源の保存・活用を推進する。		・史跡石城山神籠石のボランティア清掃活動を支援し、環境の美化に努めた。 ・クサブグの産卵場所の清掃並びに産卵状況の監視及び見学者の観察マナーの指導を行い、産卵場の保護活動を行った。 ・牛島のヒトツバハギの保護に努めた。 ・国指定文化財である石城神社本殿保存修理事業を行う中で、見学会等を開催し、市民への情報発信に努めた。 ・岩屋古墳の現地見学の向上を図るため、老朽化した案内看板を更新した。	
担当課			
文化・社会教育課			
施策や事業の展開例		自然環境を活かしたスポーツ活動の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
自然環境を有効に活用し、市民のスポーツやレクリエーション活動を推進する。		・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催した。イベント後には、参加者等の協力により海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施した。 ●「2022 ビーチランHikari」 参加者:71人	
担当課			
体育課		・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催した。 ●「第23回梅まつりコバルトウォーク」 参加者:144人	

4 みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①1人1日あたりのごみの排出量	975g (H27)	926g	910g以下 (R3)	75.4%
②リサイクル率	28.5% (H27)	28.2%	31.5%以上 (R3)	△ 10.0%
③ごみの最終処分量	1,320t (H27)	970t	1,250t以下 (R3)	500.0%
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2%	67.8% (R3)	85.0%	△ 75.5%
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2%	41.4% (R3)	60.0%	△ 4.5%
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0%	71.3% (R3)	85.0%	14.4%
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6%	68.4% (R3)	90.0%	△ 191.9%

【参考】

●取組状況

施策や事業の展開例		「もったいない」文化の醸成
概要	令和4年度の実績	「もったいない」の精神文化を踏まえた市民の環境意識の醸成を図る。 ・「ひかりふるさとまつり」において、使い捨て商品の削減について啓発を行うとともに、フードバンク提供商品の受付を行い、廃棄される食品の削減についても啓発を行った。
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例		不用品交換システムの充実
概要	令和4年度の実績	市民の不用品情報やフリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図る。 ・ごみの抑制や再使用を促進するための不用品交換システム、リユースネット(キッズ) ひかりを実施するとともに、市ホームページでフリーマーケット情報を提供した。 《リユースネットひかり》 ●譲ります: 登録58件、成立33件 ●譲ってください: 登録15件、成立4件 《リユースキッズひかり》 ●登録124件、成立97件
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例		市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進
概要	幼稚園や保育園、小中学校での環境学習を継続するとともに、エコショップ認定店での店頭回収品目追加など、制度の充実を図る。	令和4年度の実施状況 ・ごみに関する現状を周知するとともに、減量や再利用等について啓発するため、世代に応じた環境学習や出前講座を実施した。 ●幼保園児:10園(379人) ●小学児童:12小学校(425人) ●一般:12団体(656人) ●エコショップ認定店:11店舗
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例		雑がみ再資源化の推進
概要	オフィスリサイクルを促進するため、各種会議やイベントで雑がみリサイクルについての周知・啓発を図る。	令和4年度の実施状況 ・再生可能な雑がみの再資源化を促進するとともに、市域での回収量の増加につながるよう周知・啓発を図った。 ●公共施設からの雑がみ回収量:7,768kg ●市内資源回収団体雑がみ回収量:14,863kg
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例		生ごみリサイクルの推進
概要	生ごみ処理機や段ボールコンポストを活用した生ごみリサイクルの取組みを推進するとともに、家庭で簡単にできる生ごみのリサイクルについても周知する。	令和4年度の実施状況 ・生ごみ減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して助成を行った。 《補助件数》 ●電動生ごみ処理機:8件 ●コンポスト容器:8件 ●段ボールコンポスト:10件
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例		ごみ処理の有料化制度の実施
概要	共同でごみ処理施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市町の現状を踏まえ、実施に向けた検討を行う。	令和4年度の実施状況 ・一部事務組合の構成市間において、具体的な方向性を協議するまでには至らなかった。
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例		市民ニーズに対応した収集サービスの実施
概要	必要に応じたごみ分別アプリの品目追加を行うとともに、粗大ごみ等の出張収集サービスを実施する。	令和4年度の実施状況 ・正しいごみ分別の徹底を図るため、ごみ分別アプリの周知、検索品目の追加を行った。 ●アプリのダウンロード数 12,964件(前年比2,232件増) ・ごみ置場への搬出や分解が困難な粗大ごみを個別に収集する「ふれあい訪問収集」を実施した。 ●ふれあい訪問収集 739世帯 1,935件
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例		エコバークを拠点とした再資源化の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
ごみ処理施設の見学機会の拡充や各種団体に対するごみ分別の出前講座を実施することにより、市民の正しいごみ分別の徹底を図る。		・ごみ処理施設の見学については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	
担当課			
環境事業課			
施策や事業の展開例		環境保全型農業の推進	
概要		令和4年度の実施状況	
環境への負荷軽減を図り、品質と付加価値が高い農産物の生産を推進する。		・エコファーマー認定制度の周知を図り、品質と付加価値の高い農産物の生産を推進した。 ●エコファーマー認定数:10件	
担当課			
農林水産課			

5 みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成率
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60回	45回	65回	△ 300.0%
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448人	1,715人	5,000人	△ 495.1%
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1%	66.8% (R3)	85.0%	△ 104.5%
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9%	6.5% (R3)	25.0%	△ 203.3%

【参考】

●取組状況

施策や事業の展開例		「ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進	
概要	次代を担う子どもたちの自然を敬愛する心を育むとともに、様々な環境問題について認識を深めるため、「ひかりエコくらぶ」を創設し、活動を推進する。	令和4年度の実績状況	
担当課	環境政策課	・市内の小学1～3年生を対象に、市内のフィールドを活用した自然体験学習会「ひかりエコくらぶ」を3回開催し、延べ41人の参加があった。 ●1回目(11月13日) 周防の森ロッジで、落ち葉を使った工作等を実施 参加者数:14人 ●2回目(2月25日) 周防の森ロッジで、自然を感じるネイチャーゲーム等を実施 参加者数:12人 ●3回目(2月26日) ※2回目と同一内容 参加者数:15人	
施策や事業の展開例		環境関連講座、講演会等の実施	
概要	市民の環境意識の醸成を図るため、講座や講演会等を実施する。	令和4年度の実績状況	
担当課	環境政策課 環境事業課 関係各課	・地球温暖化防止や自然環境保全、ごみの分け方や出し方といった観点からの講座や講演会等を実施した。 ●環境学習:5回(170人) ●エコスタイルセミナー:講演会3回(44人) ●一般市民に向けたごみの分け方、出し方等の出前講座:12団体(656人)	
施策や事業の展開例		自然体験機会の創出	
概要	市民の自然敬愛精神醸成のため、自然とふれあう機会を創出し、保全や継承につなげる。	令和4年度の実績状況	
担当課	環境政策課 農林水産課 関係各課	・自然の大切さを学ぶとともに、自然を敬愛する心を育むため、「ひかりエコくらぶ」を実施し、自然体験機会を創出した。 ・次世代を担う子どもたちに、森林の働きなどの講話や伐採体験・木工教室など木の良さに触れ合う森林体験学習を実施した。 ●校内体験型 室積小学校 3・4年 ●現地体験型 室積中学校 2年	

施策や事業の展開例		ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施	
概要		令和4年度の実施状況	
市民を対象に、多様な環境関連施設の見学機会を提供し、資源循環や低炭素等、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを実施する。		施設の見学については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	
担当課			
環境事業課 環境政策課			
施策や事業の展開例		小・中学校との連携体制の強化	
概要		令和4年度の実施状況	
環境意識の醸成には、学校教育現場での取り組みも重要であることから、行政と学校の連携体制の構築及び強化を図る。		- 市内各小学校に環境学習の実施について働きかけを行い、5校で実施した。 - 市内の中学校を対象に、市内外の企業の環境に配慮した取り組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」については、申請がなかった。	
担当課			
環境政策課 学校教育課			
施策や事業の展開例		環境教育を担う人材の育成	
概要		令和4年度の実施状況	
市民の環境意識の醸成や向上を図るため、環境問題について学ぶ場を提供し、環境教育を担う人材の育成につなげる。		- 出前講座「創りんぐ光」において、環境関連のメニューを用意し、市民の学習機会を創出を図った。 ●環境関連:5件実施(計526名)	
担当課			
環境政策課 地域づくり推進課			
施策や事業の展開例		”光”版環境学習帳の作成	
概要		令和4年度の実施状況	
光市の自然や多様な環境について学び、継承につなげていくため、環境学習帳を作成する。		国や県、環境団体等のウェブサイトにおいて最新の情報が掲載された環境学習の教材が多数あり、これらの有効活用が図られるため、環境学習帳の作成は見送ることとした。	
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		地域での環境教育の促進、支援	
概要		令和4年度の実施状況	
地域での特徴ある環境教育につながる取組みを促進するとともに、より効果的なものとなるよう支援する。		環境団体等が主催する学習会などの後援や広報に募集記事を掲載するなどの支援を行った。	
担当課			
環境政策課 関係各課			